平成10年２月28日

山寺ふるさと便り ＝第２号＝

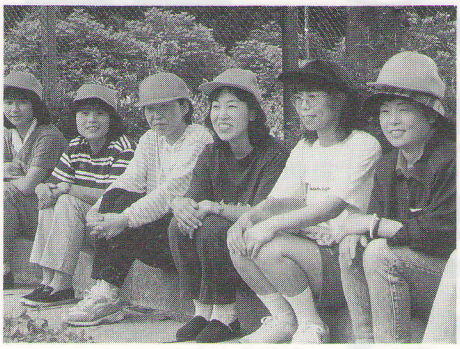
宝珠のしずく

題字 後藤仁田（性相院）

発行所 山寺公民館 〒999-3301 山形市山寺517-1 TEL 023-695-2001 FAX 023-695-2164

発行者 山寺地区振興会
編集 宝珠のしずく編集委員会

白球を追って絆をより強く



（山寺野球スポーツ少年団）

灼熱の太陽の下 熱球にかける

山寺野球スポーツ少年団

岩田義廣監督の指示を受けた選手達が守備に散る。「皆んな元気を出して」「声が小さいぞ」応援席のお母さん達の檄が飛ぶ……。真夏の太陽が容赦なく降り注ぐ中、フットワークも良く守備を終えた選手達は一目散に監督の所へと駆けてきて円陣を組み、指示を受ける瞳に輝きが見える。さあ！攻撃だ!!監督のサインを覗き込みながら打席に入る。打った！走れ走れ!!お父さん達は立ち上って走塁を促す。走る！走る!!ヘッドスライディング！セーフ!!塁審の腕は水平に開かれた。拍手！拍手!!

礼儀正しく生き生きと

父母の声

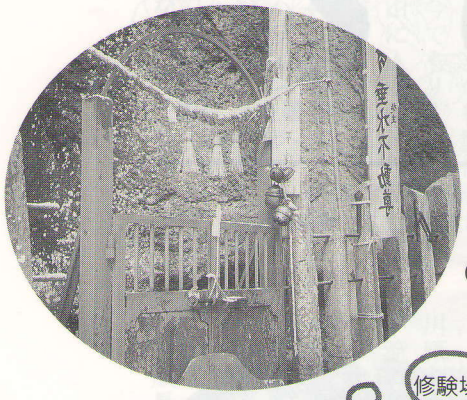
日常の生活が生き生きとして礼儀正しくなった。低学年と高学年の絆が出来て仲間意識が培われた。心身共に鍛えられ入団して良かったと大変喜んでいる。いじめが大きく問題視されている今日、このように活躍している団員達を見ていると、どうして起こるのか理解出来ない。現在十九名の団員がいるが、大規模校の生徒におくする事なく、伸び伸びと成長してほしい。

秋から六年生が抜けるが、皆んな野球が好きだから練習にも、試合にも力が込められている。

運が良ければかもしかやお猿さんに出会える

の魅力

●千手院観音



●垂水不動尊

東北自然歩道

平成八年度開設

別名「新・奥の細道」は福島県白河を起点とし、宮城・岩手・青森・秋田・山形と東北を一周する遊歩道で45のコースになっている。

山形県には一周ルート、米沢北ルート、月山ルート、鼠ケ関ルート等があるが、山寺天台の道は一周ルートの16番である。

山寺の道は一周約5km、歩いてほぼ3時間。宝珠山とはまた一風趣が変わって、新旧の名所を含め、細い山道を辿ったりしながら、一日を有意義に過ごすことができる。

馬形

後藤
美術館

●宝珠橋公園

宝珠のしずくに寄せて

「宝珠のしずく」創刊号拝受致しました。一読しましたが多くの御名前あるうち覚えているのは数名という淋しさです。…創刊号は書くことが沢山あるので華々しいが、号を重ねる毎衰えることになり勝ちですから精進を期待します。

埼玉県　布施弥兵治氏

「宝珠のしずく」の誕生おめでとう御座います。地区民の活躍振りが一目でわかるように写真で紹介され、有難く読ませて頂きました。感激です。懐かしいものですね。急に尋ねてみたくなりました。

山形市　田中かず子氏

「宝珠のしずく」深い深い意味が秘められているものと思います。しずくは一滴でもやがてはいっぱいになり溢れる。溢れたしずくは命の水、それは私達の命を養う。そんな意義を感じております。

由緒ある歴史を持つ山寺に相応しいすばらしい名前です。

天童市　佐藤　英子氏

「宝珠のしずく」創刊号、有難とうございました。生まれ故郷を改めて認識し直した思いです。

郷土の方々が一丸となっての郷土づくりの糧となりますよう、ご期待申し上げます。

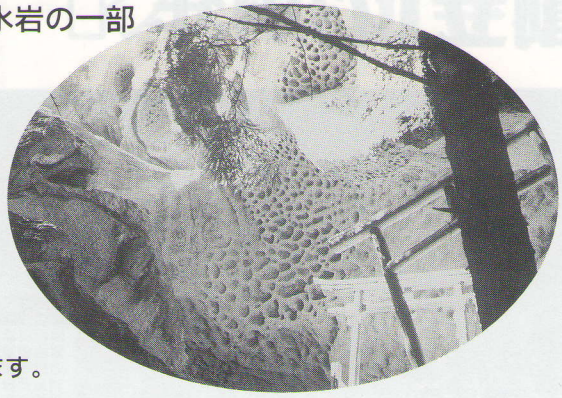
仙台市　堀川　善夫氏

あざやかな緑にむかい一呼吸　　中１　後藤智亜紀

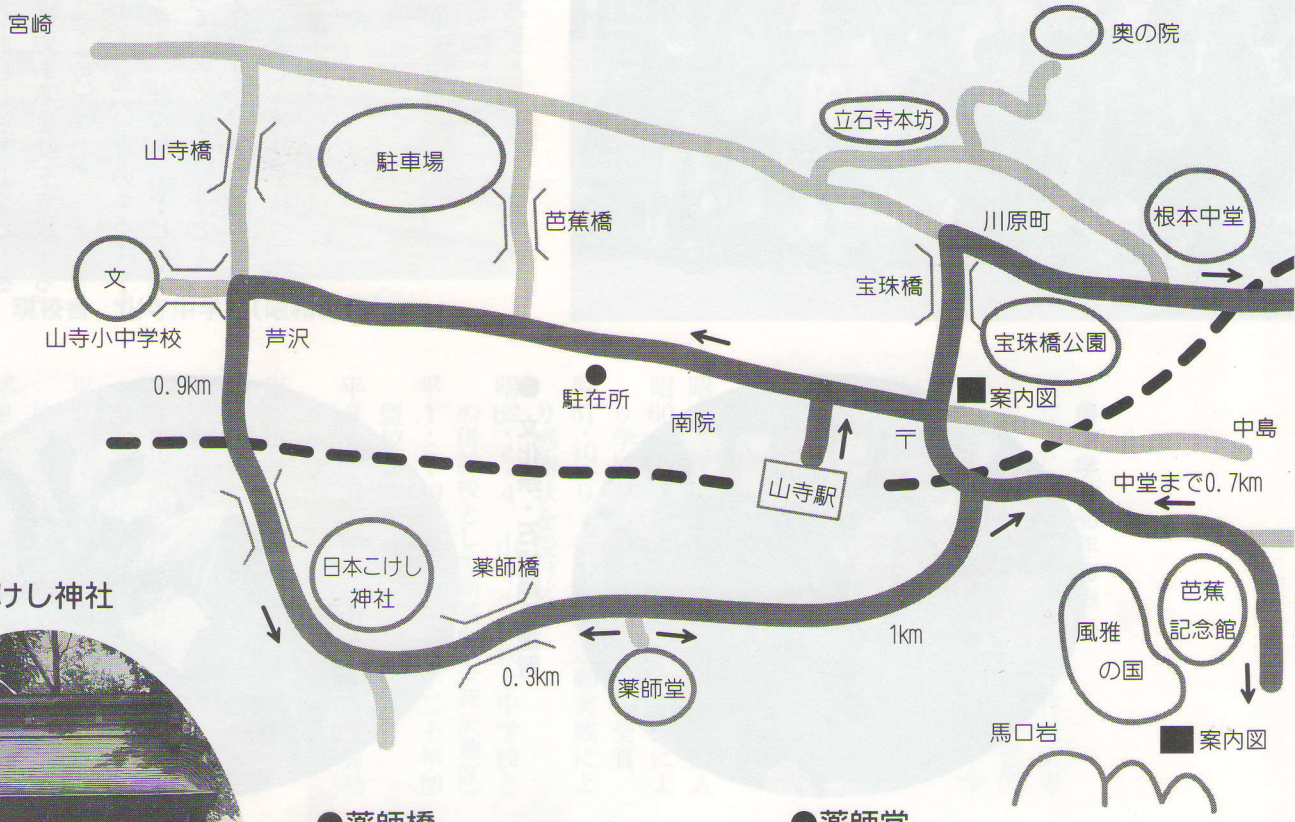
新しい山寺

●塩岩の洞
白いのは塩と言われてきた

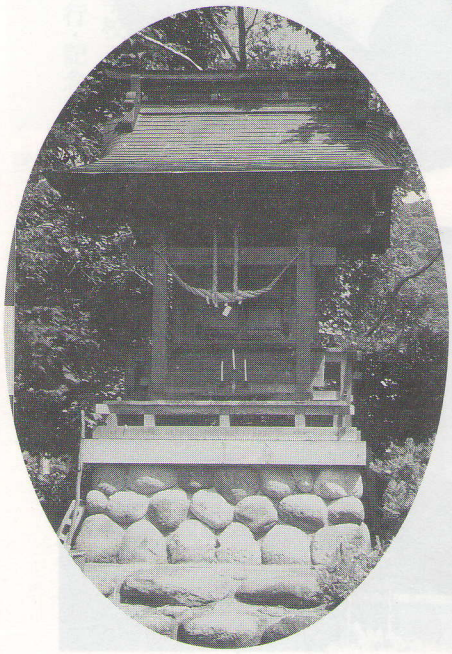
●垂水岩の一部



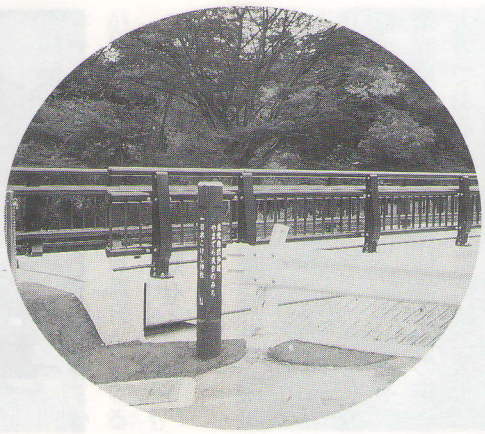
関係するパンフレットは観光案内所等にあります。



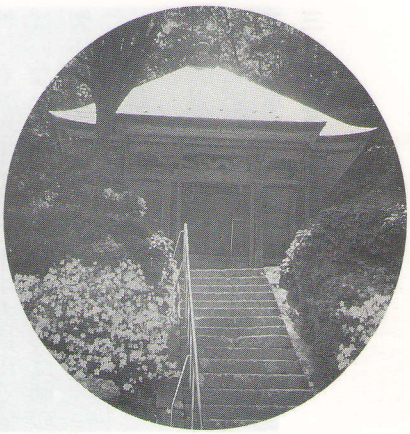
●日本こけし神社



●薬師橋



●薬師堂



学 校創立50周年
学 校創立123周年

遠藤　障一　同窓会長

木村　康二　小中学校長

山寺小中学校教育目標

郷土山寺に誇りを持ち、未来に向かってたくましく生きようとする、心豊かな活力ある生徒を育成する。

〔小　学　校〕

一、心豊かで、思いやりのある子ども
二、よく考え、自ら学ぶ子ども
三、健康で、たくましい子ども
四、力を合わせて、がんばる子ども
五、郷土を愛し、誇りを持つ子ども

〔中　学　校〕

一、友　愛
二、創　造
三、自　立
四、勤　労
五、郷土愛

●運動会

●文化祭・石切踊り練習

記念講演

演題　仏像に魅せられて

講師　山田　文雄師

（芹沢出身）

師は山寺中学校昭和三十二年卒業、山形で基本の修業を終え、その後京都でこの道を極めた。仏壇、厨子、須弥壇、仏像台座、仏具制作の第一人者である。京都仏壇伝統工芸士、特に春日厨子では日本中右に出る者はいない。昭和天皇の御位牌は師の製作になる。

記念協賛事業

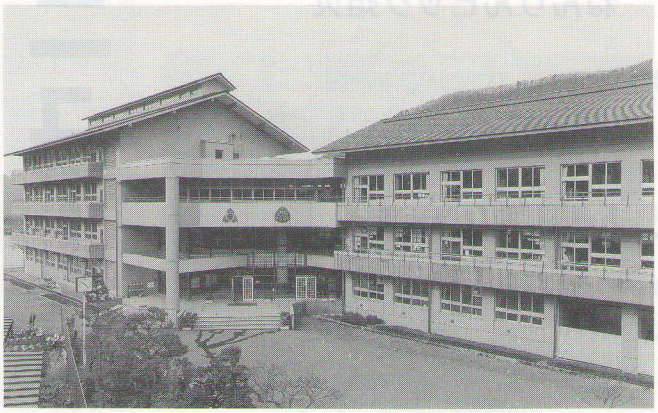
一、液晶データビジョン設備一式
　　ビデオプロジェクター
二、校章にちなみ栗の木記念植樹
三、50周年記念誌発刊助成

小学校　生徒数 101名、中学校 54名（平成9年4月）

われらが学び舎

祝 山寺中学校 山寺小学校

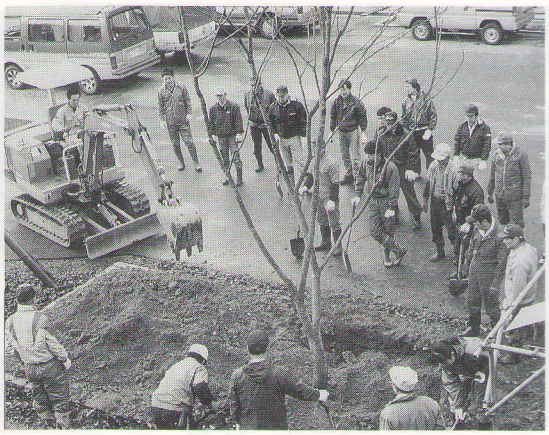
旧校舎　山寺中学校落成（昭和23年）



現校舎　山寺中学校（昭和62年）

●中学校50年の歩み

昭22・5・3　東村山郡山寺村立山寺中学校創立（山寺小学校校舎借用）
昭23・9・3　中地蔵校舎落成・中学校として独立校舎に移転
昭27・5・3　校章制定（栗の実をデザイン化・五周年記念）
昭33～34　校旗・校歌制定（十周年記念）
昭48・8　野球バックネット完成（二十周年記念）
昭44・11　ＪＲＣ（青少年赤十字）加入
昭60・7　福祉教育の実践成果により学校として「善行者」表彰受賞
昭61・10・9　街の美化運動実践により感謝状を受ける
昭62・4・4　山寺小学校と中学校との併設校として新築開校（芦沢地区）
平1・5・19　青少年赤十字二十年加盟校銀色有功賞表彰
平3・5・21　青少年赤十字金色有功賞並びに赤色旗用リボン表彰
平4・6　日本善行会善行賞受賞
平4・8　ＮＨＫ合唱コンクール特別賞受賞
平4・10　国体炬火リレー出発式典出演並びにリレー出場
平5・6・4　森林レクリエーション協会美化活動全国表彰
平8・2・19　水生生物水質調査県知事表彰
平9・10・18　山寺中学校五十周年記念式典・記念行事挙行・記念講演



◀記念植樹（栗の木）

●学校の特色

山寺小中学校は同一地区の子どもが義務教育九年の一貫教育ができる学校であり、またそれを実践している山形市内では珍しい学校である。

小中合同学習の場として、全校合唱（山形市合唱祭に参加）運動会、全校俳句教室その他があり、スポーツ少年団の実績をふまえ中体連での活躍も目ざましい。

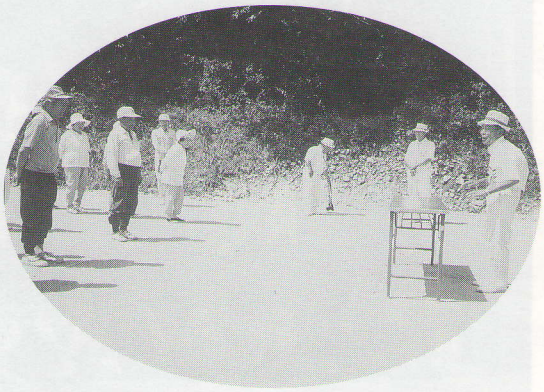
また、郷土学習（自然・文化・美化）により種々の表彰を受けており、芭蕉の奥の細道山寺の一節は全員暗唱ができ、俳句でも大会のあるたび受賞者が多い。ＪＲＣ（青少年赤十字）活動も出色のものである。

平成九年 地区ニュース

ねんりんピック炬火

第十回全国健康福祉祭山形大会のシンボルとなる炬火――この火が千年不滅の法灯から採火された。九月十七日、根本中堂では山寺民俗芸能保存会員による盤司太鼓の披露の後、清原正田副住職から大会実行委員へ炬火が引き継がれた。

二十日の開会式には立石寺からの炬火であることが紹介され、競技後、お山の案内は「きざはし会」会員で、いも煮の接待は山寺観光協会で受け持ち、三千人近く来訪者があった。



手づくりゲートボール場　9年8月

駐在所移転新築　9年3月

中地蔵道路拡幅　9年3月

下水道工事中（川原町）

水野禎三郎氏歌碑建立　9年9月

ひと谿を埋めし紅葉のいろ沈み
向つ嶺かけて片時雨来ぬ

表彰・受賞

○国土緑化推進機構会長賞
全国植樹祭の席上（全国で三名）
武田清四郎氏（所部）
○納税貯蓄連合会長賞
国民年金推進協議会功労賞
布施　正善氏（宮崎）
○山形市衛生組合連合会長賞
清掃事業功労者賞
川辺　治郎氏（芦沢）
○老人クラブ役員功労者賞
後藤　理吉氏（千手院）
○スポ少指導者功労賞表彰
今田精一氏（馬形）、岩田義廣氏（馬形）
後藤ゆみ子氏（芦沢）
○統計調査員表彰
遠藤　貞雄氏（馬形）　四十年勤続
遠藤弥右ェ門氏（南院）　三十年勤続
後藤　哲夫氏（千手院）　二十年勤続
山田　勘一氏（芦沢）　退職
○毎日書道展入選
後藤明智氏（川原町）、武田秀誠氏（地蔵堂）
武田玉華氏（地蔵堂）、伊澤双楓氏（芦沢）
伊澤玉津氏（芦沢）
○山形新聞文芸年間賞（俳句）地賞
原田　博子氏（芦沢）

●全国俳句山寺大会四十回を重ねる

山寺文化保存会主催（矢萩常善会長）の俳句大会は平成九年で四十回目を迎えた。芭蕉記念館を会場にし、二百名近くの参加者で賑わった。

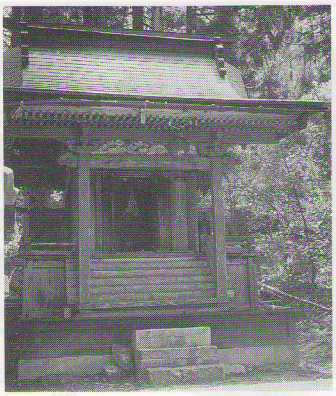
山寺の文化財②
正観音菩薩立像

中性院に伝わる正観音菩薩像は、一山の中でも最も古く、仏教美術から見ても極めて価値ある逸品。

御像の高さ29cm、鋳造金銅仏で火災に遇った形跡がある。上野の国立博物館に展示された時の鑑定（昭和62年）から推定すれば、体型のほっそりした優雅さなどは推古仏を偲ばせるが、天平時代（聖武帝740年代）の製作であろうとの事。

慈覚大師の御誕生は平安京遷都の年であるから、大師が直接山寺に勧請なされた可能性も考えられ、夢ふくらむ御像である。

おらが地区
所部



弁財天

その昔、立石寺開山の頃は、山王院村と言われたが、所部という集落名になったのは何時の頃か不明である。戸数は戦後の一時期、六十八戸を数えたが、現在は五十八戸となり過疎化が進んでいる。

集落内には、弁財天、大師堂、山の神等の社があり、石碑は十八夜塔、巳待塔、道祖神、湯殿山等十数基があって、歴史の深さが偲ばれる。

悲願であった、所部橋から南院に通じる迂回路も、近いうちには完成の見通しで交通事情は一変する。

また、ガット農業合意に基ずく国内対策としての、中山間地域総合整備事業による、集落裏の農道整備事業（延長九百四十米）の採択が決まり、既存農道の拡幅と直線化が図られる事になったが、関係者一丸となってその実現を期している。

おめでとう

金婚さん

武田さんご夫妻（千手院）

昨年十月、ばあさんの弟夫婦、私の弟夫婦それに家族全員総勢二十一人が、東根温泉あづま荘に集まって賑やかに楽しく私達の金婚を祝って下さったのには大感激、心から幸せを感じました。（義太郎さん）

里（荒谷）から山手に来て、慣れない環境のため苦しくて挫折しそうになった時もあったが、良い嫁が来て良い孫に恵まれ苦しい事は忘れてしまいました。（あさ江さん）

金婚祝当日、最上川舟下りと戸沢の高麗館見物を楽しんだ由。祈長寿。

（ほかに十一組の金婚さんがおります）

武田義太郎さん（77歳）
あさ江さん（76歳）ご夫妻

新婚さん

相田さんご夫妻（川原町）

昨年十二月、紹介により約一年間の交際を経て結婚しました。美穂さんはいつも笑顔で明るくやさしい人です。お互い老いても手をつないで歩んでいける夫婦でありたいです。（英順さん）

英順さんは、大変心が広く忍耐強い方で頼りがいがあります。二人で力を合わせて明るい家庭を築きたいと思います。子供は三人は欲しいなぁ。（美穂さん）

お二人の幸せと健康を心よりお祈りし、ご活躍を期待いたします。

（ほかに三組の新婚さんがおります）

相田　英順さん（36歳）
美穂さん（32歳）ご夫妻

話題の人

喜寿をすぎても現役
武田清四郎さん
（所　部）

武田さんは、国土緑化功労者として、昨年五月十八日、宮城県白石市で開催された全国植樹祭において、全国で三人のうちの一人として国土緑化推進機構会長（会長　衆議院議長）から栄えある表彰を受けた。

大正九年三月生で七十八歳、三十代から山関係の多くの役職に就き、その道一筋、今でもリーダーであり、しかも現役で山に入り山刀を使い鎌を振って緑を守る。

積極的に海外にも目を向け、既に中国、香港、ハワイ、バンコク等の旅をしており、台湾、カナダの林業事情の視察もしている。気力体力共に青年のようなパワーに脱帽――。

平成九年中の物故者

謹んでお悔み申し上げます

千手院　後藤　幸子殿
武田　光代殿　富樫あき子殿
後藤善四郎殿
所　部　増子　春子殿
増子　弥市殿　増子千代野殿
川原町　上野　富次殿
今井　金蔵殿　布施ウメヲ殿
相田　満子殿
南　院　遠藤　毅殿
武田　忠二殿
芦　沢　後藤　勝與殿
山田文次郎殿　丸山とみ子殿
宮　崎　布施サタノ殿
布施　良一殿　布施　文夫殿
地蔵堂　伊澤俊次郎殿
原田　貳殿　成山　八郎殿

生涯、地区のためお働き下さり誠にありがとうございました。

誕生おめでとうございます

川原町　滝口　正之氏長女　美咲さん
芦　沢　滝口　真一氏長男　凌平さん
原田　正義氏長女　風生さん
柏倉　公一氏長男　一希さん

子どもは国の宝といいます。健やかな成長を祈ります。

平成九年度
地区振興会役員名
（敬称略）

山寺地区振興会会長　武田久之進
〃　副会長　武田　和夫
〃　〃　矢萩　菊雄
常任委員　総務部長　武田久之進
〃　開発促進部長　武田　和夫
〃　社会福祉部長　矢萩　菊雄
〃　保健衛生部長　高見　昭男
〃　消防防犯部長　後藤　孝一
〃　体育推進部長　武田　俊昭
〃　社会教育部長　須貝　克二
会　計　吉田喜代太
監　事　佐藤　友昭
後藤　成雄

関係諸団体・機関

民生児童委員会総務　布施　正俊
子ども育成会連合会長　武田　健
老人クラブ連合会長　遠藤　正治
消防団分団長　後藤　俊弥
交通安全協会山寺支部長　武田　誠
山寺観光協会長　遠藤　正弘
山寺小中学校長　木村　康二
山寺郵便局長　武田三千男
山寺駐在所巡査長　相田　俊幸
山形農協山寺支店長　丹野　寿一
山寺芭蕉記念館事務局長　三浦　孝之
山寺公民館長　伊澤　貞一
〃　事務長　武田　憲一
山寺公民館主査　柴浦　雅知
主任　鈴木　典子

上記振興会役員の献身的な努力は地区振興の鍵と言える。その活躍の主なものを挙げる。

一、地区の要望23項目を行政側へ陳情
二、意向調査・地区整備基本計画策定
三、サルスベリ街道・花壇創設
四、地区振興を目指し、下水道・所部バイパス推進・花いっぱい運動
五、社会福祉ネットワーク推進
六、行幸啓記念碑市へ寄付採納完了

編集後記

「宝珠のしずく」第二号いかがだったでしょうか。創刊号を読まれた方から、ご感想や励ましのお便り、またお電話等多数頂き、編集委員一同大きな励みとなって今号の編集作業に当る事が出来ました。その中からごく一部を掲載させて頂きましたが、今後共ご声援の程よろしくお願い申し上げます。

今回も多くの方からのご協力で紙面を作る事が出来ました。有難うございました。

尚、読後感をお待ちしております。

編集委員

後藤　哲夫　伊澤　貞一
遠藤弥右ェ門　武田　誠
武田　俊昭　遠藤　まき子

毎年発行予定・保存しておきましょう